

助産師国家試験出題基準について

- 出題科目の「助産診断・技術学」における項目として「内診」が示されているとともに、内診に関連する項目として「軟産道開大機転」、「胎児の産道通過機転」、「胎児の下降状況」「(胎児の)回旋・進入の異常」、「破水」等が示されている。
- これまでの助産師国家試験問題では、内診所見に関する問題が多数出題されている。

助産師国家試験問題の例

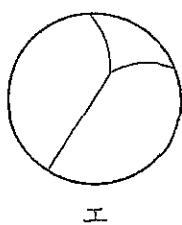
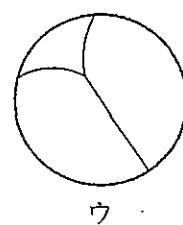
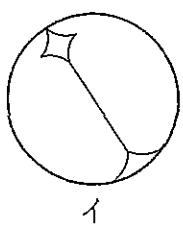
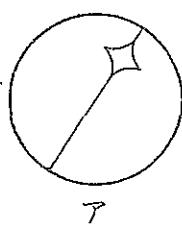
問 ピショップスコアに含まれないのはどれか。

- 1 子宮頸部の硬さ
- 2 Station
- 3 子宮口の位置
- 4 先進部の固定度

問 初産婦。内診所見は子宮口7cm開大、展退度90%、Station+1、小泉門は大泉門より低く、矢状縫合は斜径に触れる。回旋異常はない。胎児心音は正中に近い右側で聴取できる。

このときの内診所見の表記はどれか。

- 1 ア
- 2 イ
- 3 ウ
- 4 エ



問 子宮口全開大後の内診所見を表に示す。

正常な経過を示しているのはどれか。

	矢状縫合	小泉門	大泉門	Station
1	縦	やや触知	やや触知	-3
2	斜	左前方に触知	触れない	±0
3	縦	触れない	右前方に触知	+2
4	横	やや触知	やや触知	+3

問 正常分娩における児頭の下降度がStation+3である。

触知できる恥骨結合後面の範囲はどれか。

- 1 下2/3
- 2 下1/2
- 3 下1/3
- 4 下 縁